

目黒区のごみ・資源の現状と主な課題について

1 ごみ・資源の現状とその課題

(1) ごみ量 (資料 1)

目黒区のごみ量は平成 22 年度からほぼ横ばいだが、平成 23 年度と平成 25 年度のように前年比で増加に転じている年もある。平成 26 年度は平成 25 年度比で、可燃ごみ△1.2%、不燃ごみ△5.3%、粗大ごみ△7.6%と、全体的に減少した。

<ごみ量の推移と前年比>

年度		20	21	22	23	24	25	26
可燃ごみ	ごみ量 (t)	47,974	50,217	49,577	49,769	49,631	49,809	49,228
	伸び率	—	4.7%	-1.3%	0.4%	-0.3%	0.4%	-1.2%
不燃ごみ	ごみ量 (t)	7,389	2,849	2,816	2,747	2,619	2,563	2,426
	伸び率	—	-61.4%	-1.2%	-2.5%	-4.6%	-2.2%	-5.3%
粗大ごみ	ごみ量 (t)	1,998	2,011	2,087	2,263	2,438	2,561	2,367
	伸び率	—	0.7%	3.7%	8.4%	7.7%	5.1%	-7.6%
合計	ごみ量 (t)	57,361	55,077	54,480	54,778	54,688	54,933	54,020
	伸び率	—	-4.0%	-1.1%	0.5%	-0.2%	0.4%	-1.7%

※ 各欄の下段部分是对前年度の増減比率 (%)。なお、回収量等は単位未満を四捨五入して整数で表示しているため、増減比率 (%) が表記どおりの計算結果と一致しないこともある。

(2) リサイクル率の推移

平成 20 年 10 月に区内全域で開始した廃プラスチックの資源化とサーマルリサイクルによりリサイクル率の著しい向上が見られたが、平成 22 年度以降大きな変化はない。

年度	19	20	21	22	23	24	25	26
リサイクル率	23.8%	26.4%	28.4%	27.9%	27.7%	27.7%	27.6%	未確定

(3) ごみ量・リサイクル率の課題

ア ごみ量の課題

ごみの減量が進まず平成 22 年度から停滞していることが課題である。内訳を見ると、可燃・不燃ごみはほぼ横ばいか逡巡傾向だが、粗大ごみは毎年増加が著しい。平成 26 年度は、使用済み小型家電の回収開始の影響か、不燃・粗大とも減少に転じている。今後の動向を注視する必要がある。

イ リサイクル率の課題

23 区でトップクラスを保っているものの、平成 22 年度からリサイクル率が停滞していることが課題である。平成 20 年 10 月の廃プラスチックの資源化とサーマルリサイクルの開始直後の平成 21 年度には 28.4%だったが、その後 27%台で停滞しており、新たなリサイクル推進施策が必要である。

2 一般廃棄物処理基本計画の取組み状況

現行の一般廃棄物処理基本計画では、以下のとおり計画目標を掲げ、目標の達成に向けた重点施策によって一定の成果を挙げている。

(1) 計画目標

ア 進捗状況

<計画目標>

目標項目	指標	算出方法	平成 28 年度目標
ごみ減量	ごみ量	ごみ量(=区収集ごみ量+持込量)	ごみ量を平成 17 年度比で 35%削減する。
再生利用(リサイクル)	リサイクル率	資源化量÷(ごみ量+資源化量) (資源化量には集団回収分を含む)	リサイクル率を 40%に引き上げる。

<進捗状況及び達成度>

	基準年度(平成 17 年度)	平成 25 年度実績
ごみ量	64,866t	54,933t(15.3%削減)
リサイクル率	23.0%	27.6%

※ 持込ごみの算定方法が平成 20 年度から大幅に変更されたため、ごみ量およびリサイクル率は持込ごみを含まない数値で算出した。

(2) 重点施策の進捗状況

ア 「めぐろ買い物ルールづくり」の推進

数値目標	平成 23 年度実績
平成 23 年度までに(認知度を)50%まで引き上げる	43.7%

※ 環境に関するアンケート調査による(環境保全課調べ)

イ 廃プラスチックのリサイクル促進

実施内容
廃プラスチックの分別変更は、平成 20 年 10 月に区内全域で実施した。

ウ 家庭ごみの有料化検討

実施内容
他自治体の進捗状況の調査研究等を行った。

エ ささまざまな環境学習の機会創出

数値目標	実績
平成 23 年度までに 30%に引き上げる	平成 23 年度 34.4%

※ 平成 23 年 10 月 1 日現在人口(外国人登録者を含む) 262,642 人 (30% 約 78,792 人)
実績は 19~21 年度未までの累計とする。 90,250 人 (34.36%)

オ 古紙回収の効率化

実施内容
平成 24 年 3 月に、古紙の集団回収一元化事業を完全実施した。

(3) 一般廃棄物処理基本計画の課題

ア 計画目標

- ・現行計画のごみ減量・リサイクル率の目標値が達成されていない状況であるため、計画改定に向けて計画目標値のあり方について検討する。

イ 重点施策

- ・目標を達成した施策の発展性について検討が必要である。（「廃プラスチックのリサイクル促進」「さまざまな環境学習の機会の創出」「古紙回収の効率化」）
- ・目標を達成できなかった施策は、問題点の整理を行い、目標達成に向けた新たな施策の検討が必要である。（「めぐる買い物ルールづくりの推進」「家庭ごみ有料化検討」）

3 普及啓発活動について

(1) 24～26年度と23年度の普及啓発について

ア 区報への掲載

- ・大特集（1面）・小特集・英文広報

イ 総合庁舎西口パネル展示・懸垂幕の掲示

- ・西口パネル展・懸垂幕掲出

ウ 冊子・リーフレットの作成・配布

- ・子ども用（低学年用）パンフレット・子ども用（4年生用）パンフレット
- ・「目黒区 資源とごみの分け方出し方」（日本語版・英語・中国語・韓国語版）転入者用パンフレット（充実版）の作成・紙芝居・紙芝居ぬりえ・買い物ルールブック増刷
- ・事業系パンフレット（充実版）・使用済み小型家電拠点回収開始チラシ
- ・单身集合住宅居住者用パンフレットの印刷

エ 環境学習

- ・清掃事務所による出前講座を実施（26年度30回、25年度31回、24年度26回）

オ 啓発グッズ

- ・ポイポイ袋（雑紙回収袋）
- ・環境学習用名入れ文房具
- ・未就学児向け「ペーパークラフト小型プレス車・ぬりえ封筒付」の作成

カ 瓦版（町会回覧チラシ）

- ・7・11・2月ごろ

キ イベントでの啓発活動

【26年度】エコまつりめぐろ 2014 消費生活展・駒場野まつり

【25年度】エコまつりめぐろ 2013 駒場野まつり

【24年度】エコまつりめぐろ 2012

(2) 普及啓発の課題

一般廃棄物処理基本計画改定にあたっては、引き続き区財政が厳しい状況であることを踏まえ、最小の経費で最大の効果を得るような啓発事業を検討していく必要がある。

4 その他の課題等

(1) 水銀ごみについて

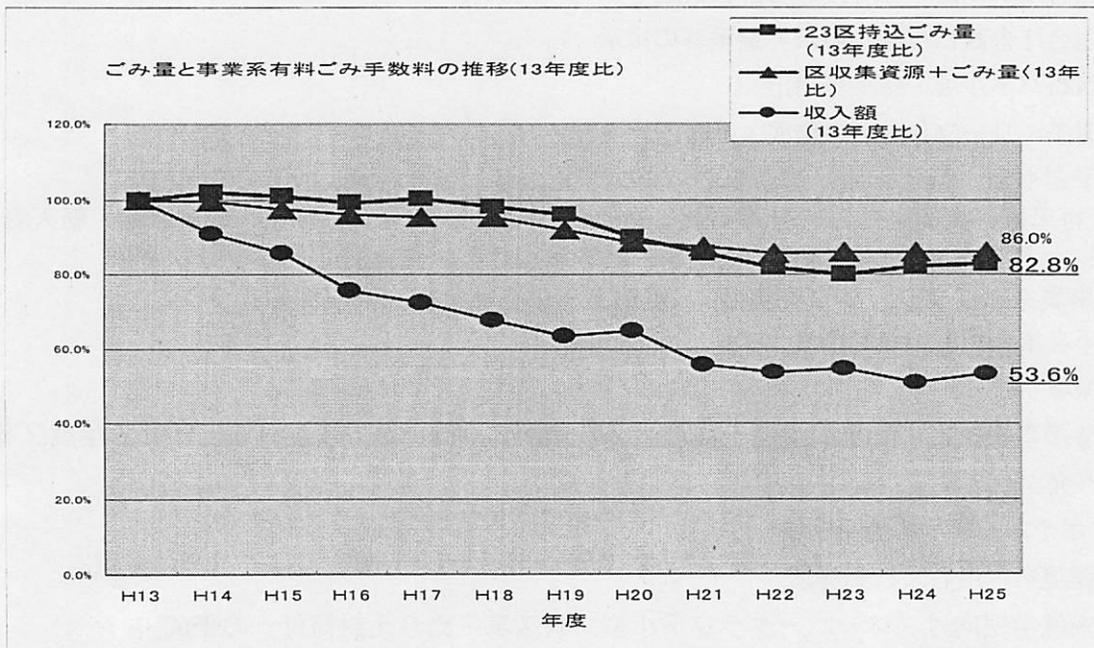
「水銀に関する水俣条約」批准に向け、水銀が含まれている蛍光灯等の分別収集、資源化について取り組む必要がある。

(2) 不燃ごみ資源化

不燃ごみの金属を資源とする方策について、小型家電回収とあわせて検討する必要がある。

(3) 事業系ごみについて

平成12年に都から清掃事業移管されて以来、事業系有料ごみ処理券の手数料収入額が年々少なくなっている。平成13年度と平成25年度を比較すると、23区持ち込みごみ量の減少(17.2%)に比べて、収入額では46.4%も減少しており、事業系の資源やごみが家庭系に混入している懸念がある。今後も事業者が排出する資源とごみは有料であることを様々な機会を捉えて啓発するとともに、課題を整理し今後の対策を検討する必要がある。



※ 区の収集に出している事業系ごみ量は把握できないため、参考に23区全体の持込みごみ量及び目黒区の資源とごみの収集量を表示した。

※ 20年度収入額が増加したのは、手数料改定によるものであり、実質は減である。

5 目黒区の人口・世帯数の推移と予測(資料2)

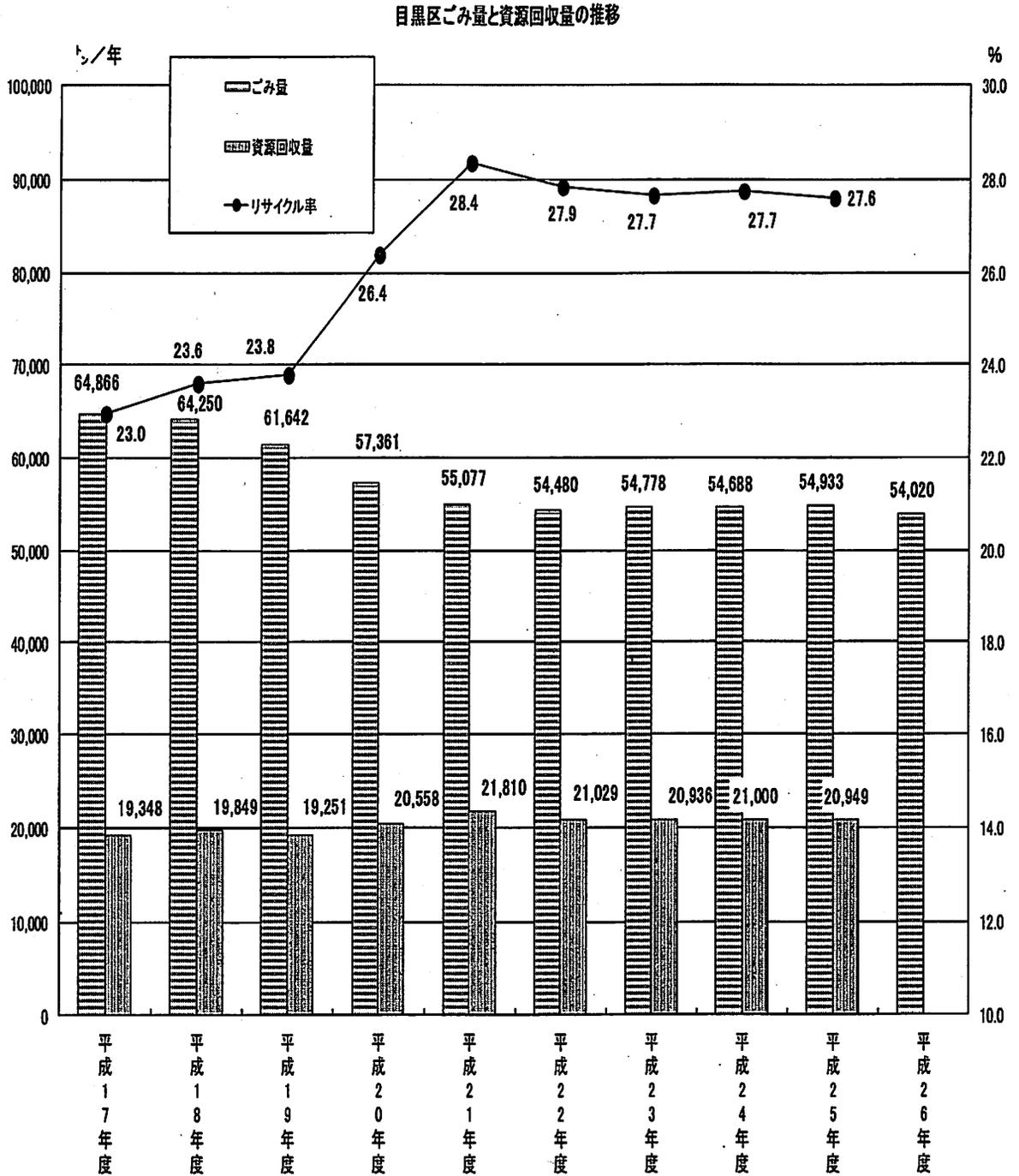
区の全年齢人口及び世帯数は、平成30年をピークに減少する。年齢階層別に見ると、年少人口の割合は、平成31・32年をピークに減少するものの、構成比率はほぼ横ばいである。高齢者人口は増加傾向が続き、平成47年に25.5%となる。

<課題>

現在、集積所にゴミ出しができない一人暮らしの高齢者には個別に訪問して収集するほか、区内に親族のいない65歳以上のみ世帯の粗大ごみ運び出しを実施している。今後本格的な高齢化社会に向けた課題を整理し、施策の方向性を検討していく必要がある。

資料 1

平成26年度目黒区のごみ量と資源回収量について（平成26年度資源回収量は資料作成時未確定）



目黒区ごみ量・資源回収量の推移

単位: t

品目/形態		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	H17年度比	
ごみ	可燃ごみ	47,801	47,323	46,206	47,974	50,217	49,577	49,769	49,631	49,809	49,228	1,427	
	区収集 ごみ	不燃ごみ	—	-1.0%	-2.4%	3.8%	4.7%	-1.3%	0.4%	-0.3%	0.4%	-1.2%	3.0%
		粗大ごみ	15,006	15,004	13,457	7,388	2,849	2,816	2,747	2,619	2,563	2,426	-12,580
	—	—	0.0%	-10.3%	-45.1%	-61.4%	-1.2%	-2.5%	-4.6%	-2.2%	-5.3%	-83.8%	
	—	2,059	1,924	1,979	1,998	2,011	2,087	2,263	2,438	2,561	2,367	308	
—	—	-6.6%	2.9%	1.0%	0.7%	3.7%	8.4%	7.7%	5.1%	-7.6%	14.8%		
合計		84,866	84,250	81,642	57,361	55,077	54,480	54,778	54,688	54,933	54,020	-10,848	
—	—	—	-0.9%	-4.1%	-6.9%	-4.0%	-1.1%	0.5%	-0.2%	0.4%	-1.7%	-16.7%	
資源	古紙 (新聞・雑誌 類・段ボール)	集団回収	10,236	10,629	10,625	10,252	10,421	11,112	12,196	13,812	13,919		
		分別回収	5,976	6,073	5,018	4,885	4,552	3,186	1,890	414	282		
		小計	16,212	16,701	15,644	15,138	14,973	14,298	14,086	14,226	14,200		
	—	—	3.0%	-6.3%	-3.2%	-1.1%	-4.5%	-1.5%	1.0%	-0.2%			
	ペットボトル	分別回収	9	81	167	476	775	815	958	945	972		
		拠点回収	211	193	180	136	100	95	87	80	70		
		小計	221	275	347	612	875	910	1,046	1,025	1,042		
	—	—	24.5%	26.4%	76.2%	43.0%	4.0%	14.9%	-2.0%	1.7%			
	プラスチック製 容器包装	分別回収	—	—	223	1,391	2,152	1,953	1,898	1,806	1,735		
		—	—	—	—	522.3%	54.7%	-9.3%	-2.8%	-4.8%	-3.9%		
	びん	分別回収	2,300	2,232	2,383	2,599	2,868	2,924	2,984	3,034	3,071		
		—	—	-2.9%	6.8%	9.1%	10.3%	2.0%	2.1%	1.7%	1.2%		
	缶 (アルミ缶/ス チール缶)	集団回収	2	3	2	1	—	—	—	—	—		
		分別回収	551	576	615	769	896	893	886	873	864		
		小計	554	579	617	770	896	893	886	873	864		
	—	—	4.5%	6.7%	24.8%	16.3%	-0.3%	-0.8%	-1.5%	-1.1%			
	古布類	集団回収	16	17	14	23	22	23	9	9	11		
		拠点回収	19	19	—	—	—	—	—	—	—		
		小計	35	36	14	23	22	23	9	9	11		
	—	—	2.4%	-61.9%	65.9%	-2.6%	3.0%	-60.0%	0.3%	21.7%			
紙パック	集団回収	4	4	3	2	2	2	1	1	1			
	拠点回収	11	10	9	10	9	9	7	7	7			
	小計	15	14	12	12	11	11	9	8	8			
—	—	-2.8%	-16.2%	0.5%	-3.8%	-7.6%	-18.3%	-4.2%	2.2%				
乾電池	拠点回収	12	12	11	15	15	18	19	17	16			
	—	—	0.4%	-6.9%	35.6%	1.3%	17.2%	5.4%	-6.3%	-6.3%			
小型家電	拠点回収	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	粗大家電	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
合計		19,348	19,849	19,251	20,558	21,810	21,029	20,938	21,000	20,949			
—	—	2.6%	-3.0%	6.8%	6.1%	-3.6%	-0.4%	0.3%	-0.2%				
ごみ・資源の総合計		84,214	84,099	80,892	77,919	76,887	75,509	75,714	75,688	75,882			
—	—	-0.1%	-3.8%	-3.7%	-1.3%	-1.8%	0.3%	0.0%	0.3%				
リサイクル率(%)		23.0	23.6	23.8	26.4	28.4	27.9	27.7	27.7	27.6			
人口(人)		256,138	259,403	280,224	261,156	260,862	262,013	262,674	264,113	267,667	269,406	13,268	
区民1人当りのごみ量 (g/人・日)		694	679	647	602	578	570	571	567	562	549	-144	
区民1人当りの資源量 (g/人・日)		207	210	202	216	229	220	218	218	214		(-20.9%)	
区民1人当りのごみ・資源量(g/人・日)		801	888	849	817	808	790	789	785	777			

※ 各欄の下段部分是对前年度の増減比率(%)。なお、回収量等は単位未満を四捨五入して整数で表示しているため、増減比率(%)が表記どおりの計算結果と一致しないこともある。

※ 人口は、23年まで住民基本台帳人口は10月1日、外国人登録は12月31日現在の数字で記載している。24年8月以降は外国人の方もあわせて統計をとるようになったため、10月1日現在で統一している。

※ 許可業者によって直接搬入される事業系一般廃棄物などの持込ごみは、この集計から除外している。

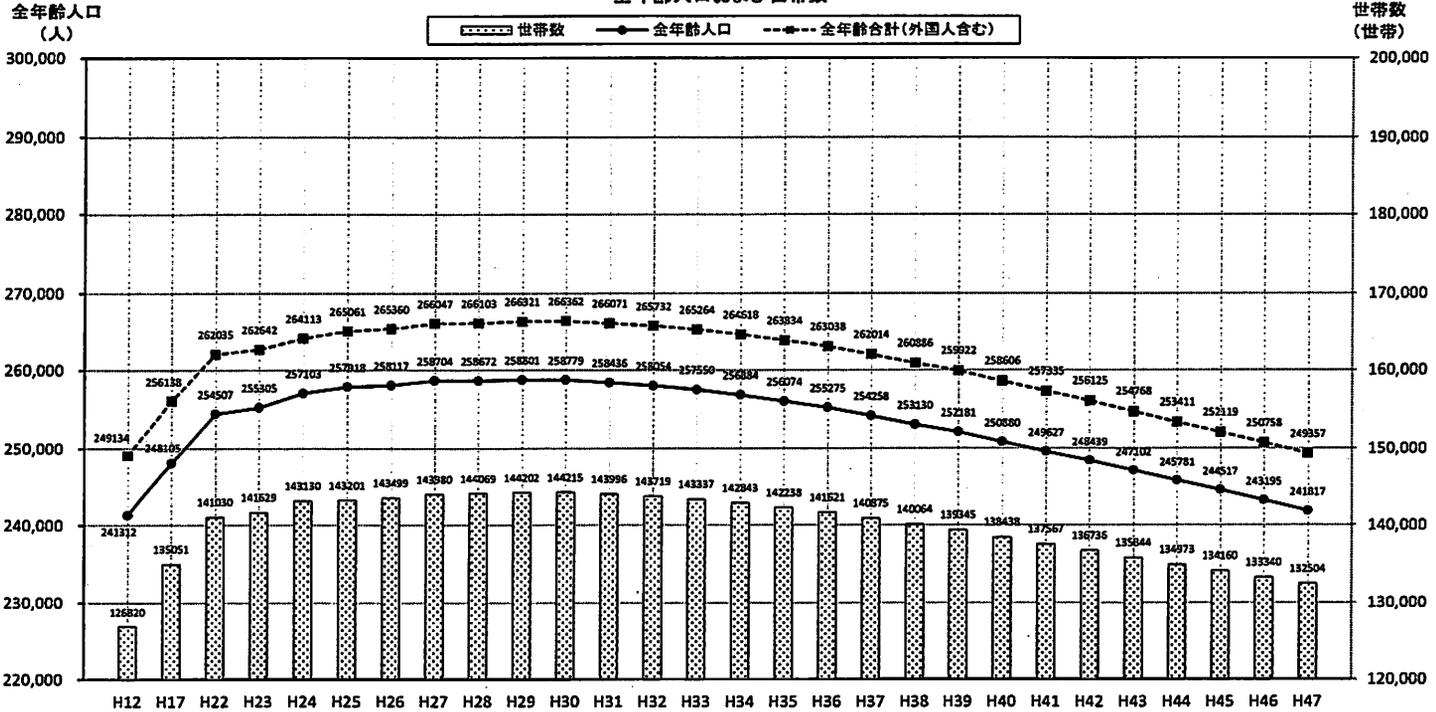
※ リサイクル率 = $\frac{\text{資源(集団回収量+分別回収量+拠点回収量)}}{\text{ごみ(区収集ごみ量)+資源(集団回収量+分別回収量+拠点回収量)}} \times 100$

※ 平成18年7月からびん・缶・ペットボトルの3品目、19年10月からびん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装の4品目の分別回収モデル事業を開始し、20年10月からは区内全域で本格実施した。

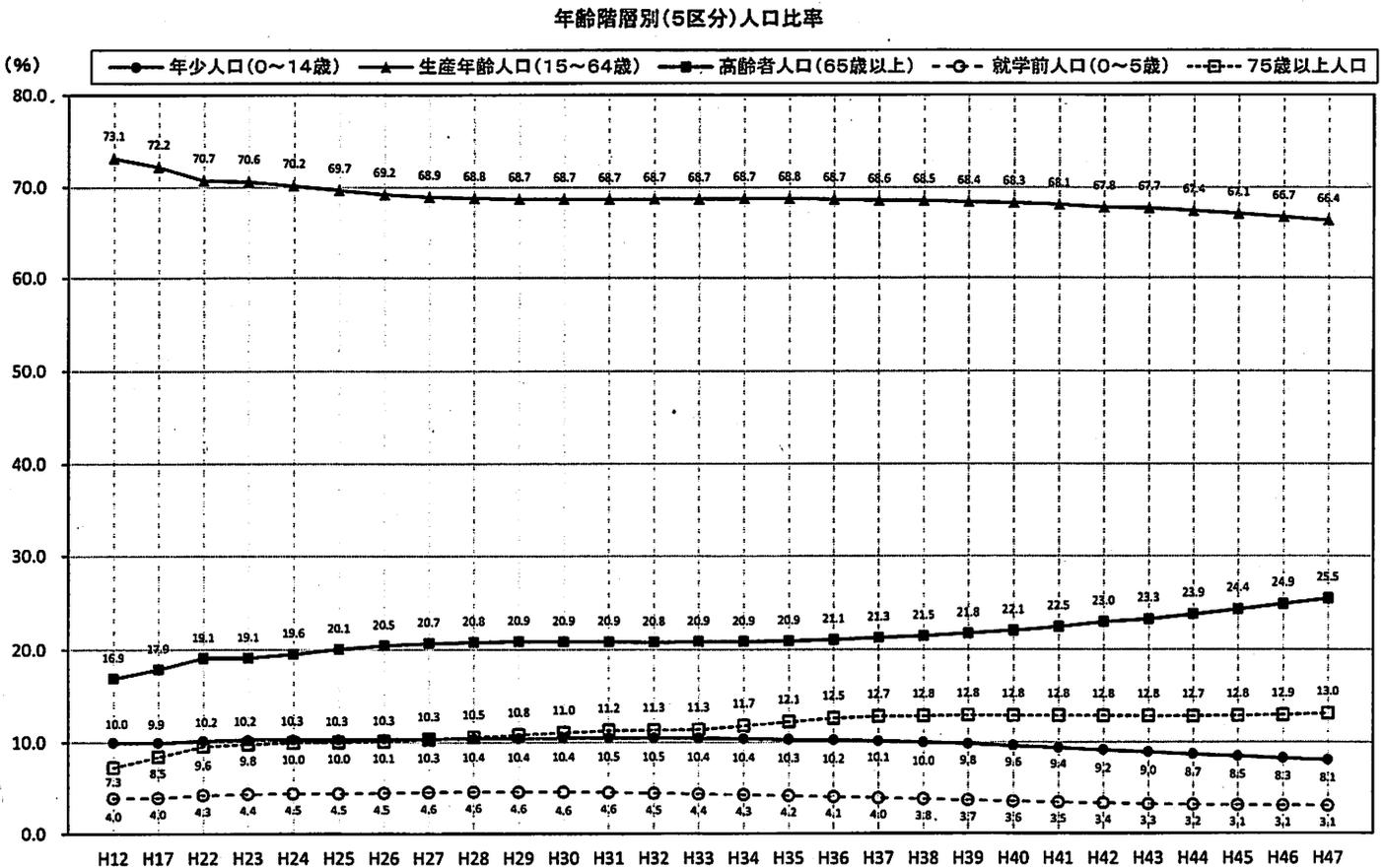
※ 平成25年12月エコまつりめぐりにて使用済み小型家電のイベント回収を実施し120.25kg回収した。

資料2 目黒区人口・世帯数の推移と予測

1. 住民基本台帳ベースの全年齢人口および世帯数の推移と予測



2. 住民基本台帳ベースの年齢階層別人口比率推移と予測



※構成比の内訳は、小数点第2位以下の表示の関係で、合計は必ずしも100%にはならない。